

帯広畜産大学同窓会報

第29号 令和4年11月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

大学近況報告

帯広畜産大学長
長 澤 秀 行
(昭和53年獣医)



今から14年前の平成20年1月1日に学長に就任し8年間努めた後、奥田潔学長に引き継ぎ、ほっとしていましたが、6年後の本年4月に再登板となりました。大学を離れていた6年間は、文科省国立大学法人評価委員会の委員として、全国の大学を評価する側にいました。再度、評価される側に戻ったこととなります。「ハンカチ落としゲーム」のように、油断して腰を下ろしていたら、背中にハンカチを落とされ、慌てて拾って、また走り出したような気分です。

本学は創立して81年目を迎えます。今年4月、帯広畜産大学は小樽商科大学および北見工業大学と経営統合し、国立大学法人北海道国立大学機構として発足しました。これまで通りのそれぞれの大学の活動に加えて、三大学による教育研究連携が進み、学生や教職員の交流も、これまで以上に活発に実施されることを目指します。その結果、文理融合あるいは異分野融合による新たな研究成果や、農工商連携の教育カリキュラムで育成された、社会課題の解決に立ち向かう人材の輩出が大いに期待されます。

昨年発行された日経グローバル誌(No.422)によれば、学生1,000人あたりに換算して比較した大学ランキングで、本学は、地元(大学が所在する都道府県)の企業等との共同研究件数が51.0件で全国1位でした。第2位は東京大学の43.3件です。これまで、日本経済新聞が実施してきた「大学の地域貢献度調査」は、取り組み実績の件数を競う形だったので、必然的に学生数の多い大規模大学や複数の学部を有する総合大学が上位になる傾向でした。そこで、今回は学生規模に応じて調査した結果、地域貢献に果敢に取り組んでいる大学が明らかになったということです。

これからも、農と食を基幹産業とする十勝・帯広に立地する本学は、産学官金連携を推進し、知の創造と

実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、くらしを守る」グローバル人材の育成を通じて、地域および国際社会に貢献していきます。同窓生の皆様には、引き続き、本学に対するご支援ご協力、よろしくお願い申し上げます。

会長挨拶

帯広畜産大学同窓会会長
西 田 謙
(昭和51年草地)



同窓生の皆様には、コロナ禍の中でご苦勞も多いことと推察いたしますが、いかがお過ごしでしょうか。また、日頃より同窓会活動にご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

ホームカミングデーが3年ぶりに10月8日に開催する案内が8月に届きました。実に嬉しい知らせです。これまでと同じぐらいの参加申込みがあるともお聞きしました。皆様と久しぶりにお会いできることが大変楽しみです。また、6月18日には関東同窓会の総会・懇親会も3年ぶりに開催され、大変盛り上がったとお聞きしました(同窓会本部からは三津原副会長、岸本副会長が出席)。少しずつではありますが、コロナ禍前の日常に戻りつつあるように思います。来年もホームカミングデーの開催と全国の全ての同窓会が開催されることを願っています。

帯広畜産大学、小樽商科大学、北見工業大学が今年4月に経営統合しましたが、同窓会としても三大学で連携できることがあるのでは、との話が持ち上がりました。そこで、まずは三大学同窓会員の交流会を帯広で開催しようと三津原副会長が中心となって準備を進めてきましたが、十勝でのコロナ感染者が激増したため残念ながら中止としました。今後、交流会開催を含め、同窓会として何ができるかを検討していきたいと考えています。

令和2年度から同窓会事業として経済的困窮学生への支援を備えていますが、幸い昨年と今年も使わない

で済んでいます。経済的理由で中退した学生もいないとお聞きしています。また、帯広畜産大学基金へのご協力を同窓会としてもお願いしているところですが、令和3年度は寄附件数が698件と過去最高となりました。多くの同窓生にご協力をいただきました。皆様の温かいご支援に心からお礼を申し上げます。寄附金は、経済的に困窮している優秀な学生への奨学金給付、授業料・入学料の免除、学生による地域貢献活動への助成など、ほとんどが学生支援に使われています。素晴らしいことです。今後とも基金へのご協力をよろしくお願いいたします。

十勝の同窓生の活躍を紹介します。令和2年に池田町長に就任した安井美裕さん（昭和62年化学）に続き、今年は土幌町長に高木康弘さん（昭和60年工学）が就任しました。おめでとうございます。益々のご活躍を期待しています。

同窓生の皆様のご健康とご活躍とを心からお祈りします。

大学の近況報告について

帯広畜産大学副学長

福島道広
(昭和58年環境)



令和2年4月より教育・入試・学生支援担当の副学長の職に就き、今年で3年目となります。就任して以来、世の中は未曾有のコロナ禍となり、様々な社会活動において制約を受ける事となりました。学生も教職員も辛い日々を過ごしておりましたが、今年度は地元企業や地域の方々のご協力のもと、数々のイベントを開催する事ができました。「学生と地域がつながるまちづくり支援事業」の一環として北海道中小企業同友会とかち支部との連携で行っている「十勝旅」企画では、十勝の牧場巡りや、十勝管内のチーズ工房巡りなどのバスツアーを実施し、学生が実際の現場を見聞して経営者の方々の想いや商品開発等の取り組みに触れる体験ができました。

また、3年ぶりの対面開催となったオープンキャンパスでは、2日間で1,339名と多くの参加者が訪れ、様々な企画や展示を通じて本学の特色ある教育研究を体験・体感してもらえました。当日は天候に恵まれ過ぎており、熱中症を心配しつつ構内を巡回していましたが、そのうちふと、学生時代の懐かしい記憶が蘇ってまいりました。大学での汗と涙と笑いの日々や研究室の同志達と味わった達成感など、仲間と過ごした濃い青春時代は忘れがたい思い出です。帯広畜産大学の構内は、少しずつ形を変えて進化しておりますが、思い出は色褪せず鮮明なものです。10月にはホームカ

ミングデーもごさいますが、何か機会がありましたら大学に足をお運びいただき、当時の記憶に思いを馳せながら懐かしいひと時をお過ごしただけたらと思います。その際は60周年（還暦）を迎えた畜大牛乳と、今年美味しくリニューアルした畜大アイスクリームを是非！ご賞味ください。（畜大牛乳は畜大生協にて10月より還暦バージョンパッケージで販売中です。）

本学は4月より小樽商科大学及び北見工業大学と経営統合し、北海道国立大学機構となりました。帯広畜産大学は長澤学長リーダーシップの下、今後ますます大学の発展のため教育研究に邁進いたします。同窓会の皆様におかれましては、今後とも温かいご支援・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

副学長に就任して

帯広畜産大学副学長・教授

古林与志安



帯広畜産大学の同窓生の皆様には、常日頃より、本学の様々な活動に多大なご理解・ご支援をいただき、心より御礼申し上げます。

私は、鳥取大学農学部獣医学科を卒業し、北海道大学大学院獣医学研究科博士課程を修了し、同大医学部での2年間のポスドク生活を経て、平成10年に帯広畜産大学に着任しました。そして、本年4月より副学長（獣医学教育国際認証・研究担当）を拝命いたしました。専門は獣医病理学で、様々な動物の病気を診断するとともに、様々な病気の発生機序を解明するための研究を行ってきました。過去形にしておりますが、実際には、教授職を兼ねていますので、現在も教育・研究・社会貢献活動を継続して行っています。本稿では、私が担当している管理運営業務について、簡単に現状を説明させていただこうと思います。

本学畜産学部共同獣医学課程では、平成24年より北海道大学と相互補完的な獣医学教育を共同獣医学課程（VetNorth Japan）として実施しています。また、この共同獣医学課程を国際水準の獣医学教育システムとするために、欧州獣医学教育機関協会（EAEVE）の認証を取得すべく、両大学をあげて取り組み、令和元年には認証を取得することができました。本認証評価では、社会状況に対応して3～4年毎に精査・更新される厳しい評価基準による審査を7年毎に受ける必要があります。更に中間時期には、改善点・変更点についての報告書を提出する義務もあります。つまり、EAEVE認証を維持するためには、継続的な改善努力が必要となります。本年度は、その中間報告書を提出する年となっております。また、本年度は大学基準協会

が実施している国内の獣医学教育評価も受審する年となっていますので、関係者一同、しっかりとこれらに取り組んでいく所存です。

研究面では、本学は大学全体の研究活性化・研究力向上を図ることを目的として、様々な研究活性化支援策を講じております。お陰様で、本年度の科学研究費補助金の全体採択率は、過去最高（36.7%）となっています。本年度は、新たに新規採用助教に対する研究資金支援制度を導入し、更なる研究力向上を目指しております。また、本学は従前より、産学連携活動に注力していましたが、産学官金連携を更に加速させるために、昨年3月から、企業等集積プラットフォームを設置し、現在60を超える機関にご参画いただき、交流会・情報交換会を実施しています。そして、そのような交流を通じて、様々な連携が芽生えようとしています。今後も北海道国立大学機構内での連携も加え、幅広い産学官金連携を発展させていきたいと考えています。

以上、担当業務の中には私の不慣れな部分もありますが、帯広畜産大学発展のために邁進していく所存です。今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



釧路同窓会の近況

釧路支部長
田 中 卓
(昭和53年環境, 57年環院)



釧路支部の総会は、令和元年に開催して以来、新型コロナウイルスの流行、それに伴う自粛要請を受けて開催していません。釧路支部総会の参加者はこれまでは高齢者が多く、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催に向けてなかなか動けなかったが現実です。

そのような中、昨年9月に三役会（支部長、副支部長、幹事）、11月に理事会を開催し、前支部長の日野浦正志氏（昭和44年草地）の後を受けて私が支部長に就任することに決まりました。

日野浦氏とは公共事業の発注者（前鶴居村長）と受注者という立場であったり、研究室の先輩（土壌肥料学研究室（私の時は環境土壌学研究室と言いました））でもあるということで断り切れませんでした。

日野浦氏の前は伊織正一氏（昭和32年獣医）が支部長で令和元年に交代されており、私はその時に無役から突然副支部長になりました。そして昨年私が支部長となり伊織氏の時から見ると数年で支部長の年齢が20歳近く若返ったこととなります。

とはいえ私も既に高齢者の仲間入りをしています。同窓会活動についてもあまり熱心ではなく、大学に行ったのも数年前に長澤学長が最初に学長に就任された際に開催された同期会と、一昨年同窓会に日野浦氏に頼まれて参加した程度です。

基本的に支部長は、農畜産業関連の方がなった方が知り合いも多く同窓会活動も活発に盛り上がりやすいと思いますが、心ならずも建設関連業に勤務する私が就任してしまいました。釧路、根室在住の卒業生とは殆どつながりのない私ですが、来年は同窓会の釧路支部会を開催して支部の活動を盛り上げていきたいと思っています。そして楽しい報告が出来ればと思います。

関東同窓会の近況

関東支部長
澤 田 拓 士
(昭和45年獣医)

新型コロナウイルス感染症は流行の終息が未だ見え、発生から3年が経とうとしています。ウイルスは人類の抵抗をあざ笑うかのように新たな変異を繰り返して生き延びています。その病原性は次第に弱まっている様に見えますが、時間がかかり過ぎます。同窓の皆様におかれましては長くご苦勞が続いていることとお見舞い申し上げます。

関東同窓会はこの2年間総会・懇親会の開催を見合わせてきましたが、今年は幹事会総意の下、「やるべっ」と決断。会場はいつもの銀座ライオン7丁目店が収容人数制限のため、急遽アリスアークアガーデン丸の内店に移して6月18日（土）17時から3年振りに開催しました。出席会員は45名といつもより大分少な目でしたが、大学から長澤秀行学長（53V）並びに野並雅章学長補佐、同窓会本部から三津原 勝副会長（55T）並びに岸本 正副会長（55T）の4名の来賓のご臨席を賜り、盛大に行われました。

初めに、近時に逝去された会員に対し黙禱を捧げました。今回は3年ぶりの開催とあって訃報の連絡が多く10名の会員が亡くなられました。その中で、守田貞





公さん(28V)は会長として平成10年から4年間、その後は顧問として、永江 巖さん(23C)は副会長として25年以上、共に関東同窓会の運営に尽力されました。心より感謝申し上げます。

総会は細川幹事長(48V)の司会の下、会長(支部長)挨拶の後、加藤 博幹事(45D)の議事進行で各議案が原案通り承認されました。今回は特に、コロナ禍で総会開催が不能となった経験を踏まえ、会則の一部改正を提案し、「不測の事態が発生し通常総会が開催不能となった場合は、幹事会の承認をもって総会の議決とする」との文言を会則に盛り込むことが承認されました。

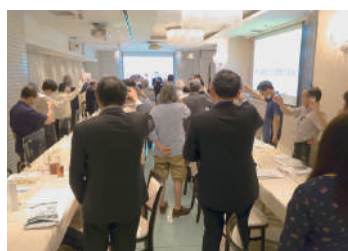
総会后、「私と火山灰地—実学的土壌学を育んだ畜大—」と題して竹迫 紘(明治大学元教授(42D))の特別講演があり、火山灰土壌の調査研究が十勝平野から関東平野へと繋がり発展したことなどについて熱弁をふるって頂きました。

引き続きの懇親会では、長澤学長から、学長再登板にかける気持ちや道内3国立大学の運営統合がこの4月からスタートしたこと、3年振りに開催される「ちくどいホームカミングデー」への誘いなど大学の現況を報告して頂きました。続いて三津原同窓会副会長に乾杯の発声を頂き、懇親の宴に入りました。乾杯酒は長澤学長差し入れの畜大構内の酒蔵「碧雲蔵」で醸造された美酒、大吟醸「十勝」で行いました。

今回はコロナ対策に配慮し、各テーブル8名以内かつテーブル中央にアクリル板を設置しての歓談となり、出席者は多少不自由な思いをされたと思いますが、お酒が進むほどに歓談の塊があちこちにでき、終了予定時刻を過ぎても話は尽きず、30分延長する程でした。恒例の逍遙歌合唱は自重、最後に、林幹事(H4G)の閉会の挨拶と手締めでお開きとしました。

来年の総会は2023年6月18日(日)12時からアリスアクアガーデン銀座店で開催の予定です。特別講演では3大学運営統合について母校の担当者から具体的な話をしてもらおう様要請中です。来年は、今回諸事情で出席の叶わなかった方も是非戻って来て頂きたいと思えます。また、非会員の同窓の入会を歓迎します。連絡先は事務局(細川幹事長):090-9810-2620又はshuko1122hosokawa@ybb.ne.jpです。

コロナ禍が終息してマスクもアクリル板も要らない日常が一日も早く戻ることを願い、同窓の皆様の活躍とご健康、並びに母校の発展を祈念します。



大阪同窓会の近況

大阪支部事務局

藤崎 泰造

(平成元年環境)

コロナ禍のため開催を控えていた総会(忘年会)と夏のBBQ大会を久しぶりに開催することができました。総会忘年会はJR天満駅近くの双龍虚で美味しい中華料理。夏のBBQ大会は服部緑地公園バーベックマルシェ(公設)に中川会長(S41酪農)に調達していただいた十勝の酪農畜産製品&道東各地のカニ魚を。もちろん碧雲蔵に道産ワイン!無事満腹の開催でありました。



両会とも20余名の老若男女同窓生が参加し近況を共有しました。写真は山田廉さん(S56環境)がBBQの記念に作ってくれた北斗の柄の手拭。いずれの会も感染者数が下火になった間隙についての開催でしたから常連参加者で自粛された方も多くありました。

同窓会大阪支部では各種開催案内は往復はがきをお送りしていますが、原資は支部の年会費500円であり予算不足のため所在の把握できているすべての関西在住同窓生に案内を送ることはできない状況です。また近年の卒業生については名簿が手元になく一度も案内告知ができていない状況です。全員は無理でも、新卒業生には告知できるとよいのですが。

案内はがき送付ご希望いただける方は、「はがきよこせ」と遠慮来なくお申し付けください。参加者の多くは、当日初めて出会う方ばかりですが、皆さん大人ですから何の心配もありません。碧雲寮の伝説の先輩にお目にかかったり、一回り二回り年下のクラブの後輩に出会ったり。奥様ご家族同伴で参加してくれる方もいて大変楽しい場になっています。

同窓会をきっかけにした動きも色々と始まっています。永井晶(S60工学)さん、本元利明(S59生産)さん、小磯(旧姓野崎)麻子さん(S62生産)らのメンバーによるテニスサークル活動が活発に行われているほか、兵庫県の山里でマタギ生活を実践中の塚本有記君(H2生産)にルアーアングラーズ出身の柴田響子さん(H18畜科)が弟子入りしたとか。プライベートな時間を同窓生とともに楽しむのは職場の同僚とは違って気兼ねなく良いものです。どうかご遠慮なく「案内はがきよこせ」とご連絡ください。



博士後期課程畜産科学専攻1年の石田恵香さんが 第19回アジア太平洋州畜産学会(AAAP)において 「Travel Grant Award」を受賞

第19回アジア太平洋州畜産学会大会（8月23日～26日：韓国 済州島）において、大学院博士後期課程畜産科学専攻1年の石田恵香（さとか）さん（指導教員：萩谷功一准教授）が Travel Grant Award を受賞しました。本賞は、開催国以外の遠方からエントリーした発表者の中から、特に優れた研究を実施している若手研究者に対して、審査を経て授与される賞です。

石田さんは、「メッシュ農業気象データを用いた日本のホルスタイン雌牛の暑熱ストレス耐性の遺伝率推定」という発表演題で、日本全国のホルスタイン雌牛約100万頭に対し、「メッシュ農業気象データ」を応用してより詳細な気象情報にもとづいて暑熱ストレス耐性を検出し、それを遺伝的改良への応用できることを示した研究成果を発表しました。

暑熱に弱いホルスタイン種が地球温暖化による猛暑を乗り越えるため、毎月の泌乳記録と気象記録を照合して乳牛個々の暑熱ストレス耐性を検出し、その情報をもとにして遺伝的に暑熱に強い乳牛へと改良するための研究に取り組んでおり、その研究成果に基づき、2021年8月から独立行政法人家畜改良センターより人工授精に使用するための種雄牛個々の暑熱ストレス耐性に関する遺伝的能力が公表されています。メッシュ農業気象データは、気象情報が農業現場で有効に活用されることを目指して、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）が開発・運用する最新の気象データサービスです。石田さんの研究は暑熱ストレス耐性に関する遺伝的能力の推定精度向上のために最新の気象データを応用できる可能性を示しました。

石田さんは、「今回、このような名誉な賞をいただくにあたって、ご指導していただいた先生方や研究室のメンバー、さらに、賞へのエントリーについて推薦していただいた日本畜産学会関係者様の皆様に深く感謝いたします。」と受賞の喜びを語りました。



受賞した石田恵香さん

博士前期課程畜産科学専攻2年の川村野乃花さんが 日本畜産学会第130回大会において 「English Presentation Award」を受賞

日本畜産学会第130回大会（9月14日～9月17日：東京農業大学）において、大学院博士前期課程畜産科学専攻2年の川村野乃花さん（指導教員：後藤達彦助教）が「English Presentation Award」を受賞しました。「English Presentation Award」は英語によって優秀な発表をした者に与えられる賞です。

川村さんは「Genetic parameter estimates for size, weight, color, and amino acid of egg in Hinaidori chickens」の発表演題で、秋田県畜産試験場との共同研究の成果を英語で報告し、プレゼンテーションや質疑応答の内容が優秀と認められました。

鶏卵の成分の一つである遊離アミノ酸は味に関わっている成分であることがわかっており、これまでの研究から、卵の遊離アミノ酸含量は品種などの遺伝要因、飼料などの環境要因の両方によって変化することが報告されていますが、遺伝要因がどのくらいの割合で影響しているのか（遺伝率）は報告されていませんでした。本研究では、卵の遊離アミノ酸の遺伝率を推定することを目的として、日本



ウィスコンシン大学マディソン校で研究を進めている川村野乃花さん

鶏のヒナイドリを使用して研究を実施しました。高付加価値化を目指した鶏卵生産では、飼料組成を変化させることが注目されてきましたが、本研究の結果から遺伝要因の影響も小さくないことが明らかになったため、今後の卵の高付加価値化に役立つ新しい知見が得られたと考えられます。

川村さんは「English Presentation Awardに挑戦する際は、英語での質疑応答などに不安があったためチャレンジするかどうかが迷いましたが、周りの方々に練習を手伝ってもらえたおかげで、学会では良い発表ができました。また、その結果としてこのような賞をいただけたので大変うれしく思います。現在は、本学の国際共同研究推進のための大学院生派遣プログラムを活用し、ウィスコンシン大学マディソン校で研究を進めているので、今後さらに発展した研究成果を報告していきたいと思っています。」と受賞の喜びを語りました。

鈴木宏志教授が2021年度日本繁殖生物学会賞・技術賞を受賞しました

原虫病研究センターの鈴木宏志教授が2021年度日本繁殖生物学会賞・技術賞を受賞しました。受賞研究は「イヌの生殖工学技術開発に関する研究」です。繁殖生物学に貢献するところが大きい点が高く評価され、表彰されました。

鈴木教授は、我が国が慢性的盲導犬供給不足の「盲導犬後進国」であることを知り得たことを転機として、哺乳動物では最も難易度の高いイヌを対象にした生殖工学研究に長年従事しています。これまでに開発された生殖工学技術は、盲導犬を含む補助犬の効率的育成に寄与しており、障害者の自立、健康と福祉の向上に資するばかりではなく、絶滅の危機に瀕しているイヌ科動物の保護にも応用が期待されています。



授与された表彰状・盾

日本初となる受精卵の遠隔輸送による木曽馬の仔馬が誕生

グローバルアグロメディシン研究センター南保泰雄教授の研究室において、日本中央競馬会畜産振興事業の一環として、日本初となる受精卵の遠隔輸送による仔馬（木曽馬）の誕生に成功しました。

国内に存在する日本在来馬は飼養頭数が減少しており、木曽馬は長野県天然記念物に指定されています。南保研究室では、令和3年に木曽馬の受精卵を回収し、鉄道・空路・道路輸送を駆使して、長野県木曽町から北海道の本学まで、10時間をかけて受精卵を室温で遠隔輸送し、同日中に、レシピエント（代理母馬）の北海道和種馬へ新鮮胚移植に成功しました。

令和4年5月29日、遂に1頭の仔馬を出産し、「日本初となる遠隔地での受精卵移植により生産された仔馬」が誕生しました。

受精卵の遠隔輸送移植の提供は、国内の獣医学系大学においても極めて稀で、希少な日本在来馬の保存及び効率的な生産、馬受精卵移植法の普及と定着を目指す本学にとって非常に重要な取り組みです。



南保教授と生まれた仔馬(右)・代理母馬(左)

「畜大牛乳」 製造60周年記念パッケージの販売を開始

帯広畜産大学では、畜産フィールド科学センターで製造している「畜大牛乳」が製造60周年を迎えたことを記念し、12月までの期間限定で赤色パッケージでの販売を開始しました。

「畜大牛乳」は昭和37年（1962年）4月、当時の酪農学科乳製品研究室でノンホモ牛乳（180cc瓶）を製造したことに始まり、昭和50年10月から（昭和62年5月まで）テトラパック、昭和55年4月からは今の牛乳パックで製造され、現在に至ります。

なお、「畜大牛乳」は帯広畜産大学生生活協同組合のほか、地元デパートの藤丸百貨店、十勝管内のイトーヨーカドー、イオン、ハピオ、ダイイチ、フクハラ（一部お取り扱いのない店舗がございます。）などでお買い求めいただけます。



期間限定の記念パッケージ(左)と通常のパッケージ(右)

令和4年度「学生による酒造りプロジェクト」による日本酒が完成

昨年度に引き続き大学構内の碧雲蔵で実施している、令和4年度「学生の酒造りプロジェクト」による純米吟醸酒「碧雲」が完成しました。

本プロジェクトは、酒造りを通じた実践的な教育の場として、学生が実際の現場で酒造りを経験することで、卒業研究の課題設定や考察への活用をはじめ、高い職業意識の育成を図ることを目的にインターンシップとして実施しているものです。

今年度は10名の学生が、上川大雪酒造株式会社の川端慎治総杜氏（本学客員教授）、若山健一郎杜氏、山根桃華杜氏補佐（大学院博士後期課程2年）ら職人から直接指導を受けながら、清酒製造に参加しました。

10月5日には、仕上げ作業のラベル貼りと箱詰めが行われ、完成した日本酒を公開しました。酒造りに参加した畜産科学課程4年の森純希さんは「若者の日本酒離れが進んでいると言われていた中で、自分たちのような若い大学生の酒造りによって完成した日本酒が実際に製品として世の中に出ることで日本酒業界に還元できれば嬉しい。」、同4年の増田瑞紀さんは「酒造りは職人の技や積み重ねてきた伝統によって出来ていることを実感。工程の途中で行った試飲の味も美味しかったので、完成品の味も楽しみ。」と語りました。



ラベルデザインを考案した田中 萌さん



完成した純米吟醸酒「碧雲」を手にする学生たち

上川大雪酒造株式会社との共同研究を実施している生命・食料科学研究部門の菅原雅之准教授は「無事に完成して良かった。プロジェクトには菅原研究室の学生も多く参加していたので、この経験を今後の自身の研究に活かして欲しい。」と学生の学びに手応えを感じていました。

また、ラベルデザインの考案を担当した畜産科学課程2年の田中萌さんは「牛・馬・豚・人が一緒に乾杯している姿をデザインした。畜大らしさが一目でわかるように考えた。実物を見ると、デザインが形になった実感が湧いて嬉しい。」と語りました。

なお、純米吟醸酒「碧雲」は、10月11日より、帯広畜産大学生生活協同組合にて販売されており、売上の一部は本学の教育研究に活用されます。

「ちくだいホームカミングデー2022」を開催しました

10月8日（土）に「ちくだいホームカミングデー2022」を開催しました。「ちくだいホームカミングデー」は、本学の卒業生、修了生及び元教職員の皆様に、再び本学に足をお運びいただき、同窓生や在学生、教職員との交流を深めていただくために開催しているイベントで、帯広畜産大学同窓会・畜大祭実行委員会との共催で開催しました。今回は3年ぶりの開催となり、当日は全国各地から170名を超える参加者にお集まりいただきました。

講堂で開催した開会式では、長澤秀行学長、西田謙帯広畜産大学同窓会長からご挨拶があったのち、福島道広副学長から本学の近況について説明を行いました。続いて学生団体による講演会を実施し、「寮祭実行委員会」「酪農どうでしょう」の2団体がそれぞれの活動を紹介しました。

その後、学内見学として4つのツアー（学生寮見学ツアー・総合研究棟Ⅰ号館～Ⅲ号館見学ツアー・碧雲蔵（酒蔵）見学ツアー・畜産フィールド科学センター見学ツアー）を実施し、キャンパス内をご覧いただきました。午後には懇親会も開催し、畜大祭からの出張出店や大学ゆかりのメニューなどを提供しました。

当日は不安定な天候の中での開催となりましたが、屋内会場にて実施した懇親会においても、参加者は旧友との再会や教職員との交流などを楽しみ、大いに盛り上がりました。



講堂前での集合写真

事務局だより

逍遙舎の使用について

「逍遙舎」は、同窓会員、職員、学生が相互の懇親などの交流の場として使用できます。利用を希望される方は、大学企画総務課にお申し込みください。

問い合わせ先 企画総務課総務係 49-5216
(平日 8:30-17:15)

HP <http://www.obihiro.ac.jp/almnus/syouyousya.html>

同窓会事務について

同窓会事務局は、事務職員の配置を取りやめ、その作業を帯広畜産大学生協に委託しております。なお、電話、FAX等は、これまでと同様ですので、お問合せは下記にお願いします。なお、大学のホームページ(<https://www.obihiro.ac.jp/>)から同窓会のページをご覧になれます。

同窓会事務局 (平日8:30-18:00)

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学内

Tel 0155-49-5996 FAX 0155-49-5996

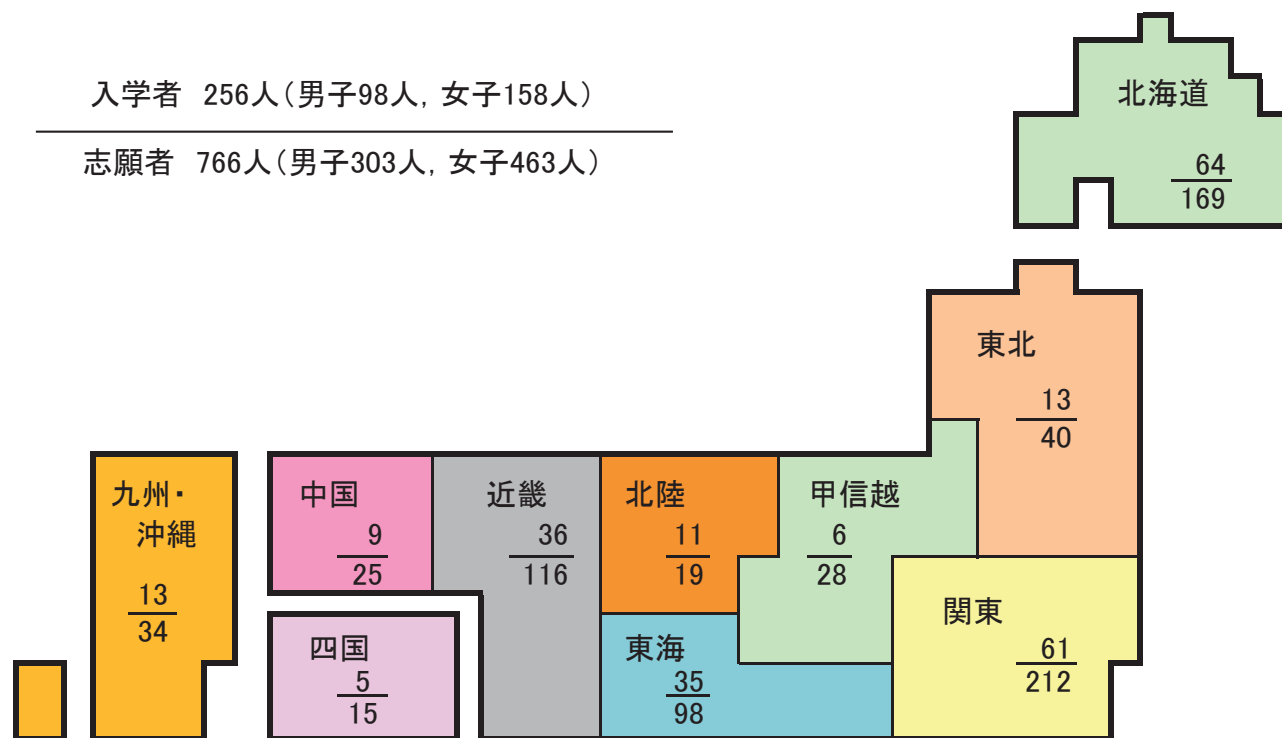
E-mail dousou@obihiro.ac.jp

HP <http://univ.obihiro.ac.jp/~dousou/>

◆ 令和4年度学部地域別志願者・入学者状況

入学者 256人(男子98人, 女子158人)

志願者 766人(男子303人, 女子463人)



その他

高卒認定試験 $\frac{1}{2}$

外国の学校等 $\frac{2}{8}$

文部科学大臣の指定した者 $\frac{0}{0}$

認定 $\frac{0}{0}$

在外教育施設 $\frac{0}{0}$

専修学校高等課程 $\frac{0}{0}$

2020年度 事業報告

- 2020年10月8日 第3年次編入畜産科学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送
10月10日 第4回ホームカミングデー共催（中止）
10月16日 役員会（文書開催）
10月27日 代議員会（文書開催）
11月下旬 同窓会報第27号発刊
12月8日 学部学校推薦型入学合格者，社会人特別選抜合格者，別科学校推薦型入学合格者，帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
12月24日 大学院博士前期・後期課程一般選抜合格者，大学院博士課程獣医学専攻合格者へ同窓会費納入願いを発送
2021年2月10日 大学院博士前期（国際協力特別選抜）合格者へ同窓会費納入願いを発送
3月6日 私費外国人留学生特別選抜合格者，一般選抜前期日程合格者，別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
3月19日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
3月20日 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送
5月13日 役員会開催（大学創立80周年記念に関する取り組みについて）
8月24日 大学院博士前期・後期課程一般選抜・大学院博士課程獣医学専攻・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者（2021年10月，2022年4月入学）へ同窓会費納入願いを発送
8月25日 役員会開催（文書開催）
8月31日 代議員会開催（文書開催）
9月下旬 同窓会報第28号発刊

2021年度 事業計画

- 2021年10月1日 総会開催（文書開催）
10月8日 第3年次編入畜産科学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送
10月上旬 ホームカミングデー共催（中止）
11月19日 役員会開催（文書開催）
11月下旬 代議員会開催（文書開催）
12月上旬 学部学校推薦型入学合格者，社会人特別選抜合格者，別科学校推薦型入学合格者，帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
12月下旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜合格者，大学院博士課程獣医学専攻合格者へ同窓会費納入願いを発送
12月下旬まで 前年度入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
2022年2月上旬 大学院博士前期（国際協力特別選抜）合格者へ同窓会費納入願いを発送
3月上旬 私費外国人留学生特別選抜合格者，一般選抜前期日程合格者，別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
3月18日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送
5月下旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
8月上旬 役員会・代議員会開催
8月下旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜・大学院博士課程獣医学専攻・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者（2022年10月，2023年4月入学）へ同窓会費納入願いを発送

2021年度 事業報告

- 2021年10月1日 総会開催（文書開催）
10月8日 第3年次編入畜産科学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送
10月上旬 ホームカミングデー共催（中止）
11月19日 役員会開催（文書開催）
11月29日 代議員会開催（文書開催）
12月7日 学部学校推薦型入学合格者，社会人特別選抜合格者，別科学校推薦型入学合格者，帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
12月24日 大学院博士前期・後期課程一般選抜合格者，大学院博士課程獣医学専攻合格者へ同窓会費納入願いを発送
12月下旬まで 前年度入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
2022年2月10日 大学院博士前期（国際協力特別選抜）合格者へ同窓会費納入願いを発送
3月6日 私費外国人留学生特別選抜合格者，一般選抜前期日程合格者，別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
3月18日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
3月20日 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送
5月24日 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
6月18日 関東支部同窓会参加
（長澤学長，野並学長補佐，三津原副会長，岸本副会長出席）
8月23日 大学院博士前期・後期課程一般選抜・大学院博士課程獣医学専攻・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者（2022年10月，2023年4月入学）へ同窓会費納入願いを発送
9月下旬 役員会・代議員会開催文書送付

2022年度 事業計画

- 2022年10月7日 第3年次編入畜産科学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送
10月8日 ホームカミングデー共催（参加登録者149人 学外94人 学内55人）
役員会・代議員会 開催
11月上旬 同窓会会報第29号発送予定
12月上旬 学部学校推薦型入学合格者，社会人特別選抜合格者，別科学校推薦型入学合格者，帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
12月下旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜合格者，大学院博士課程獣医学専攻合格者へ同窓会費納入願いを発送
12月下旬まで 前年度入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
12月下旬 役員会開催
2023年2月上旬 大学院博士前期（国際協力特別選抜）合格者へ同窓会費納入願いを発送
3月上旬 私費外国人留学生特別選抜合格者，一般選抜前期日程合格者，別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
3月20日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送
5月下旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
8月上旬 役員会・代議員会開催
8月下旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜・大学院博士課程獣医学専攻・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者（2023年10月，2024年4月入学）へ同窓会費納入願いを発送

帯広畜産大学同窓会令和3年度通常会計決算報告

(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

項目	令和3年度予算	令和3年度決算	増減	備考
前年度繰越金	7,153,916	7,153,916	0	前年度繰越金
名簿販売	0	0	0	
終身会費	3,600,000	3,400,000	△ 200,000	20,000円×170名(終身会費)
雑収入	100,000	152,002	52,002	利息(JAかわにし)、寄付金
合計	10,853,916	10,705,918	△ 147,998	

項目	令和3年度予算	令和3年度決算	増減	備考
印刷代	1,500,000	1,205,765	△ 294,235	同窓会報印刷
通信、郵送料	1,500,000	812,727	△ 687,273	通信・郵送料、料金受取払い
人件費	800,000	439,650	△ 360,350	施設管理費、アルバイト
事務費	370,000	7,315	△ 362,685	パソコン宛名ソフト
会議費	50,000	0	△ 50,000	役員会、代議員会経費
交通費	600,000	0	△ 600,000	役員旅費
役員手当	200,000	0	△ 200,000	役員日当
記念品代	50,000	18,700	△ 31,300	
雑費	200,000	28,057	△ 171,943	重複納入終身会費返金、ホームページ更新
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立
予備費	4,583,916	0	△ 4,583,916	
合計	10,853,916	3,512,214	△ 7,341,702	

収入金額 10,705,918 円 ①
 支出金額 3,512,214 円 ②
 次年度繰越金額 7,193,704 円 ①-②

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

令和4年10月4日

監事

名和靖史
 中家敏博



帯広畜産大学同窓会令和3年度周年事業特別会計決算報告

(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

項目	令和3年度予算	令和3年度決算	増減	備考
前年度繰越金	16,440,908	16,440,908	0	
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より
雑収入	100	108	8	定期預金利息(ろうきん)
合計	17,441,008	17,441,016	8	

項目	令和2年度予算	令和3年度決算	増減	備考
周年事業活動費	1,300,000	399,790	△ 900,210	関東支部への役員派遣、酒器セット
周年事業基金	16,141,008	0	△ 16,141,008	
合計	17,441,008	399,790	△ 17,041,218	

収入金額 17,441,016 円 ③
 支出金額 399,790 円 ④
 次年度繰越金額 17,041,226 円 ③-④

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

令和4年10月4日

監事

名和靖史
 中家敏博



帯広畜産大学同窓会令和4年度通常会計予算(案)

(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

収入の部					単位：円
項 目	令和3年度決算	令和4年度予算	増 減	備 考	
前年度繰越金	7,153,916	7,193,704	39,788		
名簿販売	0	0	0		
終身会費	3,400,000	3,500,000	100,000	20,000×175人	
雑収入	152,002	100,000	△ 52,002	利息、寄付金	
合 計	10,705,918	10,793,704	87,786		

支出の部					単位：円
項 目	令和3年度決算	令和4年度予算	増 減	備 考	
印刷代	1,205,765	1,500,000	294,235	同窓会報印刷等	
通信・郵送料	812,727	1,000,000	187,273	通信・郵送料、料金受取払い	
人件費	439,650	800,000	360,350	謝金、施設管理費、アルバイト	
事務費	7,315	370,000	362,685	事務用品、会員データシステム年間メンテナンス	
会議費	0	50,000	50,000	役員会、代議員会等経費	
交通費	0	600,000	600,000	役員旅費	
役員手当	0	200,000	200,000	役員日当	
記念品代	18,700	50,000	31,300	感謝状橋等	
雑費	28,057	200,000	171,943	郵便振込料金、慶弔費他	
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立	
予備費	0	5,023,704	5,023,704		
合 計	3,512,214	10,793,704	7,281,490		

帯広畜産大学同窓会令和4年度周年事業特別会計予算(案)

(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

収入の部					単位：円
項 目	令和3年度決算	令和4年度予算	増 減	備 考	
前年度繰越金	16,440,908	17,041,226	600,318		
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より	
雑収入	108	108	0	利息	
合 計	17,441,016	18,041,334	600,318		

支出の部					単位：円
項 目	令和3年度決算	令和4年度予算	増 減	備 考	
周年事業活動費	399,790	1,300,000	900,210	各支部総会への役員派遣、ホームカミングデー協賛金など	
周年事業基金	0	16,741,334	16,741,334	次回周年記念事業に向けて	
合 計	399,790	18,041,334	17,641,544		

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。[敬称略]

鳥海 康 博 (S47 農業工学科)	永 草 淳 (S42 農産化学科)	加藤 晃 俊 (S30 酪農学科)
金留 邦 一 (S23 農専獣医畜産科)	遠藤 昌 邦 (S33 獣医学科)	藤田 武 久 (S36 酪農学科)
竹本 祥 男 (S42 酪農学科)	新城 健 一 (S40 獣医学科)	小野 齐 (S29 獣医学科)
池田 昭 二 (S25 農専農学科)	高木 正 信 (S31 総合農学科)	佐々木 康 之 (旧教員)
豊田 裕 (旧教員)	小竹 一 史 (S43 農産化学科)	塚本 隆 (S38 獣医学科)
小田島 武 志 (S40 獣医学科)	大下 毅 (S52 農業工学科)	中村 洋 吉 (旧教員)
中尾 有 (S19 帯広獣医畜産専門学校獣医)	田村 弘 (S38 獣医学科)	平野 貢 (S25 農専農学科)
夏目 豊 治 (S30 酪農学科)	荒木 辰 紀 (S37 草地畜産専修)	高橋 弘 (S25 農専酪農科)
増沢 清 治 (S19 帯広獣医畜産専門学校獣医)	土屋 公 男 (S24 農専獣医畜産科)	宮内 一 典 (S44 酪農学科)
脇 一 美 (S31 獣医学科)	鈴木 悦 (S24 農専獣医畜産科)	湯藤 健 治 (S40 総合農学科)
富士元 富 男 (S29 酪農学科)	三橋 郁 雄 (S55 農産化学科)	中屋 文 雄 (S58 畜産環境専攻)
石丸 巖 (S32 総合農学科)	徳光 幸 雄 (S26 農専農学科)	川野 正 平 (S30 総合農学科)
大原 隆 (S35 酪農学科)	菅原 信 三 (S34 総合農学科)	
吉川 カツエ (S31 総合農学科)	平田 則 義 (S53 畜産環境学科)	
長田 允 (S41 農産化学科)	小坂 栄太郎 (S31 獣医学科)	
武澤 好 記 (H7 畜産環境学科)	石原 和 俊 (S36 獣医学科)	
白井 清 道 (S24 農専農芸化学科)	山田 政 勝 (S31 獣医学科)	
松浦 行 男 (S38 酪農学科)	十河 光 昭 (S37 酪農学科)	
小田嶋 慶 吾 (S29 酪農学科)	堀 正 雄 (S24 農専酪農学科)	
嶋山 壽 二 (S31 酪農学科)	竹井 正 (S28 酪農学科)	
洞口 勝 彦 (S38 酪農学科)	向井 満 弘 (S37 獣医学科)	
高木 徳 子 (S34 酪農学科)	山本 昌 (S34 総合農学科)	
小西 喜 洋 (S44 農業工学科)	堀内 浩 (S25 農専獣医畜産科)	

*2021年9月から2022年8月までに、本部事務局にご連絡をいただきました。

編 集 後 記

帯広畜産大学同窓会報第29号をお届けします。

本年度は総会の開催がない年で、3年振りになりますがホームカミングデーを無事に実施し、同時に役員会ならびに代議員会を開催いたしました。大学の授業も後期からやっと全面对面の授業が再開されて、キャンパス内にも学生たちが戻ってきました。まだまだコロナ渦から脱却できませんが、確実に以前大学へ戻りつつあります。

会報のなかにも記載しました本学キャンパス内の上川大雪酒造「碧雲蔵」で醸造された日本酒「碧雲」は今年も販売しており、製造には本学学生も関わったものとなっております。注文ならびに問合せは帯広畜産大学生協までよろしくお願いいたします。

現在、長澤学長の下、大学側と同窓会の連携を深めるべく話し合いを始めておりますので、皆様にご報告できるようにになりましたらご報告申し上げます。まだまだ事務局長として不慣れですが、これからもご指導ご鞭撻どうぞよろしくお願いいたします。

(文責：島田謙一郎)

帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定
平成5年10月16日改訂
平成7年10月14日改訂
平成9年10月18日改訂
平成11年10月23日改訂
平成13年10月6日改訂
平成19年10月13日改訂
平成25年10月5日改訂

第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。
- 第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 同窓会報の発行
 2. 同窓会名簿の管理
 3. 帯広畜産大学の後援
 4. その他本会の目的を達成するための必要な事業
- 第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

第2章 会 員

- 第5条 本会は次の会員を持って組織する。
1. 正会員
 - 1) 帯広畜産大学及びその前身の卒業生
 - 2) 帯広畜産大学畜産学専攻科、大学院畜産学研究科、及び別科修了生
 - 3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したもの
 - 4) その他代議員会で認めたもの
 2. 準会員
帯広畜産大学、大学院畜産学研究科、草地専修科、岐阜大学大学院連合獣医学研究科および岩手大学大学院連合農学研究科の学生
 3. 特別会員
帯広畜産大学およびその前身の同窓生以外の教員
- 第6条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。
- 第7条 会員の除名および資格の喪失
1. 本会の名誉を傷つけたり、本会の目的に反した行為を行った会員は、代議員会の決議により、除名とする。
 2. 当該会員が死亡したときは、その資格を喪失する。

第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。
- 第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局長1名、庶務担当3名、会計担当3名、名簿担当3名および監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。
- 第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員および代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。
- 第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を

補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

- 第12条 事務局長は庶務担当役員と共に会務を担当する。
- 第13条 会計担当役員は会費を徴収し、本会の資産の管理と予算の適切な執行を担当する。
- 第14条 名簿担当役員は同窓会名簿の管理を担当する。本役員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することができる。
- 第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。
- 第16条 役員会は会長が召集しその議長となる。本会は構成役員の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。
- 第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。
- 第18条 代議員会は会長が召集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第19条 代議員会は次の事項を審議する。
1. 予算及び決算
 2. 会費の変更
 3. 重要な資産の処分
 4. その他の重要な事項

第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めるとき、または10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときこれを開くこととする。
- 第21条 総会は会長が招集し、その議長は会員中より総会で選出する。
- 第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。
1. 会則の変更
 2. 役員人事
 3. 資産目録
- 第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。
- 第26条 会員は終身会費として入学時に20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。なお、準会員については、何らかの事情で中途退学した場合、本人からの請求があれば返金するものとする。
- 第27条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

第6章 支 部

- 第28条 本会はその目的を達成するために、必要があるときは支部を設けることができる。
- 第29条 支部を設置しようとする者は、その代表者から支部会則、役員等の資料を添えて本会に届け出なければならない。なお、支部活動については、支部会にゆだねるものとする。

付 則 この会則は平成25年10月5日から施行する。

学生の酒造りプロジェクト 「碧雲」今年も販売!



帯広畜産大学
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

日本酒
飲酒は20歳になってから。
開栓時には十分注意してください。



720ml
製造年月
2022.10

原材料名 米(北海道産)、
米こうじ(北海道産米)
精米歩合 55%
アルコール分 16度

製造者
上川大雪酒造株式会社
北海道上川郡上川町旭町25番地1
製造所
上川大雪酒造株式会社 碧雲蔵
北海道帯広市稲田町西2線15番地1
帯広畜産大学内

<https://kamikawa-taisetsu.co.jp>



・ 純米吟醸「碧雲」720ml 2,420円

(全国送料一律1,500円) ※一部地域を除く

畜産科学課程2年の田中萌さんが
牛・馬・豚・人が一緒に乾杯している
デザインを作成しました。



酒蔵から 味わいのご紹介

酒米洗いからラベル貼りまで、十勝碧雲蔵の純米吟醸酒造りに学生が関わったお酒です。しっかり磨いた道産酒造好適米を、碧雲蔵の地下を流れる札内川伏流水を使い、低温でじっくりと発酵させました。穏やかな香りと優しい味のバランスが良く、後味も滑らかで心地よい余韻が楽しめます。

ご注文は
帯広畜産大学生協オンラインショップまで



お問合せ先
帯広畜産大学生協生活協同組合

TEL 0155-48-2284 受付時間 10:00~16:00
E-mail svc@chikudaicoop.jp
ホームページ <https://www.hokkaido.seikyoku.ne.jp/obichiku/>

売り上げの一部は、帯広畜産大学の教育研究に活用されます。